



令和8年度 合言葉 みんなが幸せ

神野小だより

神野小HP



令和8年 7月 16日 文責 近藤 慎也

「神野夏祭り！！」子どもたちの思いを大切に

7月14日、15日の両日、昼休み～5校時目を使って「神野夏祭り！！」が開催されました。各クラスで遊びの屋台を開き、屋台を出して迎えるクラスと、屋台を回って遊ぶクラスを2日間で交代しながら楽しむという内容です。代表委員会で子ども達が話し合って開催を決めました。活気にあふれ、屋台を出す側も、遊ぶ側も実に楽しそうでした。子ども達の歓声と笑顔がいっぱいの2日間でした。

さて、今回は、「神野夏祭り！！」が実現するまでの、経緯をぜひ知っていただきたいと思い、話題にしたところです。始まりは、5月の代表委員会。議題は、「(人数が多い全校の)みんなが、もっと仲良くなるための取組を考えよう」でした。各クラスで考えてきたアイデアを出し合い、話し合いをして最後まで残った案が、「(遊びの)屋台」と6年生が先生となり縦割り班ごとに分かれて行う「縦割り授業」でした。代表委員会に出席した子ども達の多くが、「(遊びの)屋台」をしたいという思いがありながらも、規模の大きさや準備から実施にかかる時間を子ども達なりに考えて、「縦割り授業」が現実的なのではないかという雰囲気でも時間となり、会を閉じました。

職員の中にも、学期末のこの時期に、授業時数のことを考えて、はたしてそれだけの時間がとれるのかという思いもありました。ただ、子ども達の思いを実現させたいという思いもありました。やはり、後者の思いが強く、担当職員が6年生の計画委員会の子供達と、準備の時間や授業時数の問題も相談しながら話し合いを続けました。そんな中、子ども達側から、準備の時間を短縮するためのアイデアを盛り込んだ修正案が出てきて、実現可能となりました。

この取組の価値は、教師と子どもの合意形成で、どちらも納得できる内容で実施できたこと。できるところとできないところを考えながらの、対話を通じた合意形成ができたこと。対話や合意形成の大切さを、子どもも教師も学ぶことができました。また、子ども達に「自分たちの思いは、実現できるんだ」という思いをもたせることができたのではないかと思います。子ども達には、「どうせ最後は、先生たちが決めるんだ。どうせやりたいことがあってもできないんだ」と思わせたくはありません。「みんなが幸せ」な学校づくりは、自分たちの力でやっていくものだという当事者意識の高まりにもつながったことと思います。大人の都合で進める教育から、子どもの主体性や思いを大切にしたい教育へ、また一歩前進した神野小学校です。



【9月の主な行事】

- 1日(火) 2学期始業式 11:40 下校予定
「れんらくくん」運用開始
- 2日(水) 給食開始
- 3日(木) スクールカウンセラー来校 午後
- 10日(金) にこにこママさん読み聞かせ
- 24日(木) スクールカウンセラー来校 午後

※8/2(日)校区民ラジオ体操&健康ウォーキング 6:20 学校集合

8/29(土)神野校区夏祭り 神野小運動場